

補助事業番号 24-2-109

補助事業名 平成24年度 福祉車両の整備補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 どりーまあサービス

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ア. 福祉車両の整備

イ. 福祉車両を活用することによって、地域における高齢者福祉力の向上に寄るとともに、高齢者と地域住民との交流を積極的に推進する

(2) 実施内容

ア. 福祉車両（移送車Ⅲ）を整備した







イ. 法人ホームページの「お知らせ」において競輪の補助金で車両が整備されたことを掲載した

法人ホームページ URL <http://dreamer-service.org>

2 予想される事業実施効果

1. 無料の送迎サービスを行うことにより高齢者が地域の介護施設を使用するための利便性を高め、家族の負担を軽減する
2. 本事業の成果物である車両を使用して施設と地域との交流を図り、利用者が地域から孤立するのを防止する

3 本事業により作成した印刷物等

機関紙 どりーまあ通信 第26号 2012年5月発行

ホームページ (<http://dreamer-service.org>)

4 事業内容についての問い合わせ

団体名： 特定非営利活動法人 どりーまあサービス（ドリーマアサービス）

住 所： 770-0866

徳島県徳島市末広2丁目1番80号

代表者名： 理事長 山口 浩志 (ヤマグチ ヒロシ)

担当部署： 小規模多機能ケア夢ガーデン (ショウキボタキノウケアユメガーデン)

担当者名： 次長 吉崎 住夫 (ヨシザキ スミオ)

電話番号： 088-678-8161

FAX番号： 088-678-8165

E-mail： npo@dreamer-service.org

URL： <http://dreamer-service.org>



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第26号 2012年 5月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆
どりーまあサービス

〒770-0866
徳島市末広2丁目1番80号
TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035
URL: <http://dreamer-service.org>
E-mail: npo@dreamer-service.org
発行責任者 山口 浩志

インベーション経営

さわやかな薫風が吹きわたってすがすがしい感じの今日この頃です。
いよいよ医療・介護同時改定がスタートしましたが、最近のWHOが出した報告によりますと、65歳以上人口は、今後5年以内に5歳未満人口を上回って、2



理事長

山口 浩志

050年には、14歳以下人口より多くなるとのことです。またその時点で、80歳以上人口が現在の4倍に達すると発表されました。
今年の世界保健デーには、「健康であってこそその人生」をテーマとして掲げ、「健康な加齢」への投資を各国に呼びかけています。
これらのことから、同時改定を活かし、国民としての幸せ

支え合える



地域社会づくりへ
徳島文理大学保健福祉部
准教授 古川 明美

新年度は、人との出会いが多い時期です。入園・入学・入社等とてもワクワクする季節です。どのような人に出会えるかと思うと大きな楽しみとともに不安もあります。
支え愛コーディネーターを終了し、今、どのようにお過ごしですか。研修は、人との出会いであり、同じ志を持つ人や講師の先生方との出会いの場です。終了後、いかに進めようかと考えている人、一歩前進している人も、人と人をつなぐこと

～春の訪れ～



は、容易なことではありません。また、人は常に思い悩むことが多いのではないのでしょうか。そして、日常生活の中で色々と悩むことがあっても気軽に相談できる人は、専門家となった近所の顔なじみのあなたではないでしょうか。近所の人たちが憩う場として「サロン」があり、楽しい一時を過ごす場所が沢山できればと願っています。このような「サロン」をそれぞれの地域で造るには、自分のできることから始め、それが人の役に立ち自分の生きがいになると信じていきます。人はひとりでは生きて行くことはできません。人との絆を大切にし、地域の輪を広げていきましょう。
春は、草木が芽吹き、花が咲き心は弾んできます。この春の訪れを新しい支え愛のスタートに一歩前進されることを期待しています。

福祉車両補助決定!!

財団法人 JKA

この度財団法人 JKA 様からのリフト付き福祉車両の補助が決定し現在手続き中です。

地域の皆様等にぜひご活用させていただきます。

競輪は、人に優しい社会を作る公益事業を応援しています。



の道すじを考えなければなりません。政治は相変わらず空転で混迷するばかりです。
近代経済学者のシュンペーター氏の理論は、「経済発展の原動力はイノベーション」でした。イノベーションとは、「技術革新」の他に、「新しい切り口を発見する。新モデルを打ち出す。」という意味も含まれています。過去の成功体験から脱し、今こそ、けもの道をかき分けてでも、最適かつ最善の方法を自らつかまなければなりません。
「地域包括ケア」という大きな命題に立ち向かう今、イノベーションの精神で、これからも地域福祉実践に取り組んでまいりますので、皆様のますますのご指導とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。